

もくじ

札幌の水道	はじめに	2
札幌の水道のあらまし	施設の位置と水道局の仕事	3-4
水道の概要	水道の水が届くまで	5
水源	札幌の水を確保します	6
	いつまでも良質な水道水を 送り届けます	7
	水源を分散化します	8
浄水場	安全でおいしい水をつくります	9-10
水質管理	安全でおいしい水をお 届けするために	11-12
	安全でおいしい水ってどんな水?	13
送配水施設	安全な水を安定して送ります	14
配水管	すみずみまで水を送り届けます	15-16
給水装置	皆さまのご家庭まで水を送ります	17-18
災害対策	地震などの災害に強い体制を つくります	19-21
家庭での災害への備え	日頃から災害に備えましょう!	22
北海道胆振東部 地震を受けて	災害により強い水道を目指して	23
環境保全の取組	環境への負荷を できるだけ少なくしています	24
財政	水道事業の予算	25
水道料金	水道料金制度の概要	26
第2次札幌水道ビジョン	長期的な視点で取組を進めます	27-28
今後の課題	水道事業の今後の課題	29
歴史	札幌の水道のあゆみ	30-32
	年表 札幌の水道の主なできごと	33
広報活動	水道事業への理解を 深めていただくために	34
お問い合わせ・相談窓口のご案内		裏表紙

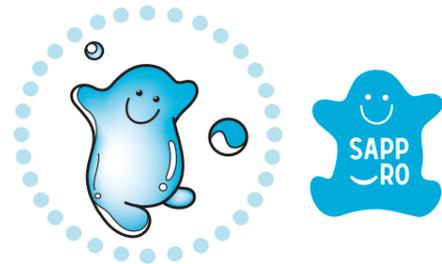


水道は私たちの大切なライフライン。
いつも安全でおいしい水を
札幌のみみずみまでお届けします。



札幌市水道局のシンボルマーク

水面に一粒の雫が落ち、波紋が広がる様子をシンボリックにデザイン。三角形は、水道創設の地・藻岩浄水場が位置する藻岩山を表すとともに、水源と水道局、そして市民が一体となって、今後もより安全でおいしい水をつくっていくことを表しています。



ウォッピー（札幌市水道局 公式キャラクター）

紙面に登場しているのは、札幌市水道局のキャラクター「ウォッピー」です。ぽよんぽよんと突き出たお腹と、無邪気なポーズが可愛い、水滴の男の子です。お年寄りから子どもまで、誰からも親しまれるキャラクターを目指しています。

はじめに

札幌の水道は、昭和12(1937)年、本市を一望する藻岩山のすそ野に建設された藻岩浄水場から、9万2千人を対象に通水したのが始まりです。

その後の目ざましい市勢の伸長、市域の拡大にあわせ、水道施設も拡張を重ね、令和6(2024)年現在、給水人口196万人、給水普及率99.9%という全国でも有数の大規模な水道に成長しました。

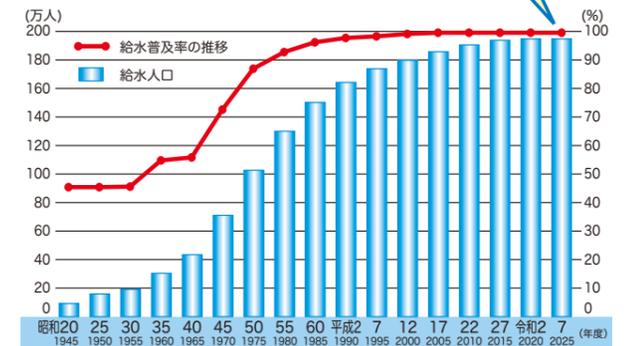
水道は潤いのある市民生活に、あるいは産業の発展に重要な責務を担っており、今や都市におけるライフラインとして欠かせない存在です。

札幌の水道は、創設以来、深刻な水不足という事態を招くことなく今日にいたっておりますが、今後も安全で良質な水を安定して供給することを基本に、長期的な展望にたった水源の確保、施設の整備や更新、給水サービスの向上に努めてまいります。



給水人口・給水普及率の推移

昭和12(1937)年、9万2千人の給水人口でスタートした札幌の水道。札幌市の発展とともに給水人口は飛躍的に伸び、令和7(2025)年度では、創設時の約21倍の196万人になる見込みです。給水普及率も99.9%に達します。



ほぼ100%の普及率です。



1人1日平均給水量

1人1日あたりの平均給水量は、令和7(2025)年度では約265Lになる見込みです。

また、一般家庭に限ると約203Lになる見込みです。これは、一般的な家庭用の浴槽で約1杯分に相当します。



大通公園
(中央のモニュメントは札幌の水道創設を記念して建てられたもの)



豊平川